

防火・防災管理者選任（解任）届出書 記入要領

- ※1 届出書には、防火（防災）管理者の資格を証する書面のコピーの添付が必要です。  
 ※2 不明な箇所は、消防署に届け出る際、窓口で確認のうえ記入することもできます。

番号	記入項目	記入要領
①	年月日	届出書の提出年月日を記入します。
②	宛先	建物を所轄する消防署長宛てとします。
③	管理権原者	1 届け出る建物又はテナント管理権原者の住所、氏名及び電話番号を記入します。 2 法人の場合は、法人登記されている所在地、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 3 個人企業の場合は、代表者個人の住所及び氏名を記入します。
④	防火・防災	「防火」又は「防災」にレ点を記入してください。
⑤	選任（解任）	「選任」又は「解任」のうち、該当しない文字を横線で消します。（同一の届出書で選任及び解任を行う場合はそのままにします。）
⑥	所在地	当該建物の所在地を記入します。
⑦	名称	1 当該建物の名称を記入します。 2 テナントの場合は建物名称を記入し、「㉗その他必要な事項」欄にテナント名称を記入します。（記入例参照）
⑧	管理権原	建物の全体の防火管理を行う場合は「単一権原」の□印に、建物の一部分の防火管理を行う場合は「複数権原」の□印にそれぞれ「レ」を付けます。
⑨	用途	建物の用途を記入します。 （例：飲食店、工場、事務所、共同住宅、複合用途（雑居ビル））
⑩	令別表第1	前⑨の欄に記載した建物の用途を、消防法施行令別表第1に掲げる用途区分及び項区分に従い記入します。分からなければ空白でかまいません。
⑪	収容人員	消防法施行規則第1条の3の算定基準に基づき算定した建物全体の収容人員を記入します。分からなければ空白でかまいません。
⑫	種別	消防法施行令第3条の建物の区分に応じ、該当する□印に「レ」を付けます。分からなければ空白でかまいません。
⑬	※令第2条を適用するもの	同一敷地内に同一権限の2以上の棟がある場合、各棟の名称、用途及び収容人員を記入します（棟が多く書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付します）。
⑭	※令第3条第3項を適用するもの	届出者の管理する事業所がテナントである等、複数権原に分かれた建築物の一部分で、かつ当該部分が乙種防火管理講習修了者を防火管理者とすることができる部分である場合、当該部分（事業所）の名称、用途及び収容人員を記入します（書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付します）。
⑮	氏名	防火（防災）管理者となる者の氏名及び生年月日を記入します。
⑯	住所	防火（防災）管理者となる者の個人の住所を記入します。
⑰	選任年月日	防火（防災）管理者として選任された年月日（又は届出年月日）を記入します。

番号	記入項目	記入要領
⑱	職務上の地位	防火（防災）管理者として選任された時の組織上の役職等を記入します。（例：「総務部長」、「支店長」）
⑲	種別	<p>1 防火管理者</p> <p>(1) 受講した防火管理講習が甲種の場合 甲種の□印に「レ」を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の□印に、再講習を受講している場合は再講習の□印に「レ」を付けます。</p> <p>(2) 受講した講習が乙種の場合 乙種の□印に「レ」を付けます。</p> <p>2 防災管理者</p> <p>防災管理の□印に「レ」を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の□印に、再講習を受講している場合は再講習の□印に「レ」を付けます。</p>
⑳	講習機関	防火（防災）管理講習を受講した機関名を記入します。（例：「東大阪市消防長」、「日本防火・防災協会」）
㉑	修了年月日	講習を受けた修了証に記載されている修了年月日を記入します。再講習を受講している場合、最後に受講した修了証に記載されている修了年月日を記入します。
㉒	その他	講習修了以外の資格者を選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。（例：「省令第2条第1号（安全管理者）」）
㉓	氏名	防火管理者を解任される者の氏名を記入します。
㉔	解任年月日	防火管理者を解任された年月日（又は届出年月日）を記入します。
㉕	解任理由	転勤、退職等具体的に理由を記入します。
㉖	その他必要な事項	建物の一部の管理権原者として届け出る場合、その管理について権原を有する範囲を記入する等、その他必要な事項がある場合は記入します。